



日本聖公会 東京教区 聖アンデレ教会

105-0011 東京都港区芝公園3-6-18

電話 03-3431-2822

FAX 03-3434-5698

e-mail:st-andrew.tko@nssk.org

HP http://www.st-andrew-tokyo.com

顕現後第5主日 2012年 2月 5日

礼拝案内

十 午前7時30分 聖餐式

聖歌 119番 528番 316番

十 午前9時15分 こどもと祝うユーカリスト

聖歌 259番 483番 560番 119番

十 午前10時30分 聖餐式

入堂聖歌 49番

清めの祈り 1頁(162頁)

キリエ 2頁(162頁)

大栄光の歌 3頁(163頁)

特 禱

主よ、あなたに呼び求める民を慈しみ、その祈りをお受けください。どうか、行うべきことを悟る知恵とそれを忠実に成し遂げる恵みと力をお与えください。主イエス・キリストによってお願いいたします。 アーメン

み 言 葉

旧約聖書 列王記下4章18-21,32-37節

詩 篇 第142編

使 徒 書 コリントの信徒への手紙 一
9章16-23節

昇階聖歌 119番

福音書 マルコによる福音書1章29-39節

説 教 主教 大畑喜道 師父

報 告

ニケヤ信経

代 禱 12頁(168頁)

懺 悔 13頁(170頁)

聖 餐

平和のあいさつ 15頁(171頁)

奉献聖歌 406番

感謝・聖別

16頁(172頁)

主の祈り・パン裂き

24頁(180頁)

近づきの祈り・神の小羊

26頁(181頁)

陪餐聖歌 528番

感謝の祈り

28頁(182頁)

祝 福

退堂聖歌 316番

派遣の宣言

ハレルヤ 主とともに行きましょう

ハレルヤ 主のみ名によって アーメン

詩篇 142 編

1 声を限りに主を呼び求め 声を限りに
主に祈る

2 み前に嘆きを訴え み前に悩みを打ち
明ける

3 弱り果てたときも神はわたしの歩みを
守ってくださる わたしが歩む道には
わなが掛けられている

4 右に目を注いで見ても、わたしを助ける
者はいない わたしには逃げる所もなく、
命を救う者もない

5 神よ、あなたに向かってわたしは叫ぶ
「あなたはわたしの寄りどころ、わたしの
命のすべて」

6 わたしの叫びに心を留めてください、
わたしは打ちひしがれている 虐げる
者から救ってください。彼らはわたしより
はるかに強い

7 わたしを獄屋から助け出してください。
み名に感謝するために あなたがわたしを
恵まれるから、正しい人は周りに集まる

今週の礼拝奉仕者 2月 5日

午前 7時30分
 旧約聖書 小泉 妙さん
 使徒書 高木真知子さん
 オルガン 日高淑子さん
 オルター 小泉 妙さん 石川光子さん
 午前 9時15分 ユーカリスト
 オルガン 日高淑子さん
 午前 10時30分
 旧約聖書 藤波咲季さん
 使徒書 菅原 悠さん
 ブレッド 青木信子さん
 クルエット 大西道雄さん
 オルガン 堀江真理子さん
 アッシャー 宮崎光代さん 内田和男さん
 オルター 坂野武子さん 竹田和子さん
 代祷奉仕者 藤波勝久さん
 礼拝当番 佐藤 睦さん

来週の礼拝奉仕者 2月12日

午前 7時30分
 旧約聖書 黒瀬晶郎さん
 使徒書 黒瀬恵子さん
 オルガン 大畑敦子さん
 オルター 山越伊都子さん 寺田紀子さん
 午前 9時15分 ユーカリスト
 オルガン 大畑敦子さん
 午前 10時30分
 旧約聖書 鈴木幸夫さん
 使徒書 杉山晴比古さん
 ブレッド 片岡仁枝さん
 クルエット 村澤浅路さん
 オルガン 石谷冽子さん
 アッシャー 古川真知子さん 田中祺一郎さん
 オルター 佐藤三重子さん 大川俊子さん
 代祷奉仕者 三好忠彦さん
 礼拝当番 杉山晴比古さん

今週の代祷

逝去記念

- 1日 河井伝蔵 田村 敬 リベカ小西百合子
 岡田 其 モニカ馬場カジ マリヤ大明文子
 アブラハム浅川末太郎 ヨハンナ杉浦きよ
 マルク東海林あさの 潮田輝久 マリヤ榎戸敦子
- 2日 エリサベツ村井さく 松永澗子 長部はな
 マリア座間多恵子 ジャスティン長橋 輝
 パウロ田村喜一郎 テレサ植松り奈
 司祭ジェローム澤邦介 マリア竹石喜代
- 3日 マタイ清水伝三 サロメ得能美喜代
 バルナバ岩田義定 斎藤良一郎
 ヘレン林 萬代 宣教師クラグストン・
 ドナルド 鈴木克子
- 4日 ヨハネ多田義雄 ミリアム池端 糸
 ヨハネ永根宏基 マリア國頭奈保美
- 5日 村田こと アンナ山田てつ 小田正典
 マリア國頭佐良恵 バジル竹内新一
- 6日 マリア柳下さだ ヨセフ太田金次郎 アンデレ
 長井敬勝 サムエル鶴見和之 ルカ安田利顕
- 7日 根岸かね 恒松駒市 上原康子
 ヨハネ杉浦欣介
- 8日 エリサベツ青島てる 細谷清 治子修女
- 9日 マリヤ吉野みん ナタナエル大江博
- 10日 斎藤よね マリア原雪子 岩田とく 越石けい
- 11日 木田綾子 藤田宗次郎 祝キミ

東京教区の諸教会・諸活動

- 5日 日韓在日・日韓交流の諸活動
 関東3教区生野委員会
- 6日 城南教会グループ協議会・同牧師協議会
 教区審判廷審判員 財政委員会
- 7日 聖アンデレ教会 聖オルバン教会 三光教会
 香蘭女学校礼拝堂・高校・中学
- 8日 真光教会 東京聖マリア教会 大森聖アグネス
 教会 聖パウロ教会 渋谷聖公会聖ミカエル教会
- 9日 外塚教会グループ協議会・同牧師協議会
 広報委員会 聖職養成委員会

聖職候補生・同志願者

- 10日 目白聖公会 東京諸聖徒教会 諸聖徒幼稚園
 礼拝音楽委員会
- 11日 牛込聖公会聖バルナバ教会
 東京聖テモテ教会 ぶどうのいえ

病床にある方を覚えて

- | | | |
|---------|--------|---------|
| 小林恭子さん | 山田泰子さん | 大熊松子さん |
| 張替由美子さん | 岡墻信男さん | 桑田静江さん |
| 島田早苗さん | 杉山一枝さん | 平田源助さん |
| 一原久枝さん | 遠山明子さん | 大場健一さん |
| 青木清治さん | 石谷貞子さん | 影山幸枝さん |
| 戸田雄介さん | 稲原輝雄さん | 寺本芳子さん |
| 駒野寿恵夫さん | 富田裕子さん | 行武芳恵さん |
| 江種正子さん | 梅原千里さん | 中村知子さん |
| 稲村琉璃子さん | 横山久江さん | 佐藤恵美子さん |
| 佐藤達雄さん | 春山直範さん | 斎藤久美子さん |
| 吉岡利幸さん | 藤田敬子さん | 遠山隆夫司祭 |
| 小野里俊一執事 | | |

世界の諸教会、聖公会の働き

- ・信教の自由を求めて
- ・カナダ聖公会
- ・メリーランド教区(ユージン・テイラー・サットン主教) ジャプスバーグ聖パウロ教会 スミスバーグ聖アン教会、聖ヤコブ礼拝堂
- ・エルサレム教区(スヘイル・ダワーニ主教) ナザレ キリスト教会
- ・東京教区宣教を考える集い(2/10-11)のため
- ・教区のこどもたちへの活動(東京教区SS連絡会)のため
- ・聖オルバン教会次期牧師選考委員会の職務のため、ふさわしい牧会者が与えられますように
- ・自然災害 - ことに東日本大震災の被災者、「いっしょに歩こう!プロジェクト」のため
- ・ケニア(アフリカの角)飢饉の被災者、支援種のため
- ・紛争・混乱にある地域、ことにパレスチナ、イスラエル、シリア、イラク、アフガニスタン、スーダンなどの地域の一日も早い解決のため

本日

14 時頃より 礼拝堂通夜準備
 16 時 納棺の祈り
 17 時 夕の礼拝
 18 時 通夜の祈り

6日(月) 7時30分 聖餐式
 11時 葬送式 正午出棺

7日(火) 7時30分 聖餐式
 10時 英会話の集い
 支援対策本部会
 14時 入信準備
 18時30分 3・11礼拝準備会

8日(水) 10時30分 聖餐式

9日(木) 7時30分 聖餐式
 11時 婚約式

10日(金) 7時30分 聖餐式
 東京教区宣教を考える集い
 (箱根スコレプザ 11日まで)

11日(土) 朝の聖餐式はありません
 18時 BS

2月12日(日) 顕現後第6主日

午前7時30分 聖餐式

聖歌 5 530 309

午後9時15分 こどもと祝うユーカリスト

聖歌 4 483 560 119

午前10時30分 聖餐式

聖歌 5 501 527 530 309

旧約聖書 列王記下 5:1-15b

詩 編 42 編 1-7

使徒書 コリントの信徒への手紙一 9:24-27

福音書 マルコによる福音書 1:40-45

お餅つき

13時 教会委員会 聖歌隊練習

17時 夕の礼拝

2月の代祷・信施奉献先

- ・教区こどもたちへの活動のため
- ・「信教の自由」を抑圧されている人々のため(2.12)
- ・ハンセン病問題啓発の日(顕現後第6主日 2.12)
- ・東京教区神学生のため(大斎節第1主日 2.26)
- ・ぶどうのいえのため
- ・中部教区可児ミッションの働きのため

おしらせ

2月2日、マリア竹石喜代姉が逝去されました(84歳)。当日朝に緊急洗礼を受けられ、聖アンデレ教会に連なる姉です。姉の神様のみ許での平安とご家族の慰めのためにお祈りください。尚、葬儀は本日午後6時から通夜の祈り、2月6日(月)午前11時より葬送式が当教会にて行われます。

公示 2月26日(大斎節第1主日)礼拝後、2012年度受聖餐者総会を礼拝堂にて開催します。現在受聖餐者の方はご予約ください。主な議題は2011年度活動報告・決算承認、2012年度活動予定・予算案承認です。やむをえずご欠席の場合は委任状をご提出ください。尚、総会当日の2月26日(日)は礼拝時間が変更となります。9時15分のユーカリストは9時から、10時30分の礼拝は10時からです。ご留意ください。

今週10日、11日の両日、東京教区宣教を考える集いが箱根スコレプザで行われます。約100名の各教会や教区委員会からの代表者、全教役者が集まり、今後の東京教区の宣教課題について話し合います。講師は大畑喜道教区主教様と沖縄教区谷昌二主教様です。当教会からは黒瀬晶郎さんと三好忠彦さんが参加されます。実りある時となりますようご加祷ください。

尚、教役者参加により、2月11日早朝聖餐式はございません。

次回の聖書を学ぶ会は、3月1日(木)午前10時30分から旧約聖書編、3月7日(水)午後7時から新約聖書編です。ぜひご参加ください。

浅草路上生活者支援(毎週日曜日早朝)では、毎回200食の配食のためにボランティアを募集しています。前日の米研ぎ、当日の米炊き、配送などの仕事があります。ご協力をお願いします。今年は2月22日(水)から大斎節が始まります。昨年のお棕櫚の日曜日に配布したお棕櫚の十字架を教会までお持ちください。灰にし、大斎始日礼拝で用います。

「池星熙司祭による聖書読書の勧め」を配布しております。少しずつ聖書に親しむためのお勧めで、自由参加です。それぞれの都合のよい時間、それぞれの場所で行うものです。ご関心のある方はご一読の上、申込書をアッシャーにお渡しください。本日の奉献の折にお届けします。また本日第1回目のプリントをお渡し致します。一部で2月5日の週と2月12日の週に分となります。疑問やご不明な点は牧師までお寄せください。

毎週土曜日午後3時からの礼拝堂内などのお掃除奉仕へのご協力をお願いします。他の礼拝奉仕も含めご奉仕いただける方は、アンデレホール掲示板の「礼拝奉仕者当番表」にご記名ください。

本日の福音を理解するために

先週の木曜日は被献日でした。時はクリスマス喜びの時から大斎へと移ります。今の時は救い主の誕生の喜び、光の喜びに満たされた者がどのように応答していったかを学んでいきます。暗闇の中に現われた一筋の光、この小さく無力な存在はやがて人々と共に歩み、神の栄光はこの小さな存在を通して知らされていきます。やがてイエスは十字架への道を進みます。そのことを通して私たち一人ひとりを和解させ、結び合わせていくのです。私たちは神を信じながらも後ろ向きに歩いたり考えたりしがちです。しかし何もできない小さな存在であると、もはや自分の時代は終わってしまったと考えてはいけません。神は真っ先に羊飼いたちにその誕生を知らせたように、この世界で中心にいる人ではなく、周辺に追いやられた人々に救いを明確に示されます。勇敢な戦士が私たちを救ってくれるのではない、この小さな幼子が私たちを救ってくれる。シメオンやアンナはそれに気づくと、人々に知らせます。これを人々が受け入れたかどうかは伝えられていません。老人のたわごとと人々は無視したかも知れませんが、しかしそんなことは問題ではありませんでした。彼らは賛美をし続けるのです。シメオンは年老いて何もできなくなりました。アンナも神殿にいて祈ることしかできません。シメオンは聖霊に促されて、神殿に留まり続けます。アンナも同様でした。彼らは救いを待ち望みながらもどんな思いでいたのでしょうか。人々は彼らの存在に対してどのように反応していたのでしょうか。もはや過去の人だ。何もできなくなってしまった。しかしそんな存在だとしても神は決して一人ぼっちにはしませんでした。何もできないと嘆いてはいけません。神殿に留まり続け、祈り続け、救いの日が来ることをひたすら、待ち望むことが大切なことです。その時、奇跡的なことが起こります。神はまずこれらの存在に目を留めて、救いの到来を賛美することをゆるされます。たった生後40日目の幼子です。一般的な目から見たらこの子供は力なく何もすることはできない存在であるかもしれない。誰かの助けが必要です。しかしシメオンもアンナもその存在にして気づきます。

この子はやがて多くの人に支えられて成長し、そして自分の生涯を賭けて私たちを救ってくれる。この喜びを抑えずにはいられない。シメオンとアンナはどこかで顔を合わせたでしょうか。きっと彼らは互いに顔を合わせて喜びを共有したと思います。固い絆で結ばれたのではないのでしょうか。「あなたも出会ったのね」私も出会った。思い残すことはない。今は喜びに満たされている。」私たちは夕の礼拝の度に、就寝前の祈りの時にシメオンの賛歌を唱えます。一日の終わりに私たちはこのような小さなものを探し出して、真っ先に救いを示してくださったことを感謝しつつ新しい日を待ち望みます。私はこれからの時を賛美をせずにはいられない。明日目覚めて神が許したもうなら、与えられたときを神を賛美し、救いをのべる日を送る決心をしていこう。特禱の中で「行うべきことを悟ることができますように。」と祈ります。悟るということとはただ分かったということだけではありません。それを恐れずに実行するということです。神は私たちが何かをしようとしたら、時には失敗することもあるでしょう。時には間違った決断をしてしまうこともあるでしょう。しかしそれを恐れてはいけません。神はきっと助けてくださいます。

イエスは病気の人に触れて癒しました。イエスに触れられて新しい人に生まれ変わります。「もてなす人=仕える人」となったシメオンのしゅうとめは、イエスの弟子になっていきます。イエスと同じように「愛と奉仕に生きる者」になりました。単に肉体的ないやしさが問題なのではなく、イエスのいやしを体験することによって、その人の生き方が変わったのです。私たちは変えられた人々の現実を学びます。それを学ぶことは私たちも変えられる経験をするということです。イエスは弟子達に声をかけます。「さあ、一緒に他の町々、村々に出かけよう。」イエスと共に出かけよう。と宣教の旅に私たちを召しだします。すべての人が救われるようにイエスは出かけます。私たちはイエスと一緒に宣教の旅を続けるために召しだされたのです。神の思いが満ち溢れ、人々が救いの現実を実感し、互いに愛し合うように変わるようにと私たちを召しだしてくださったのです。福音のために恐れず立ち上がりましょう。